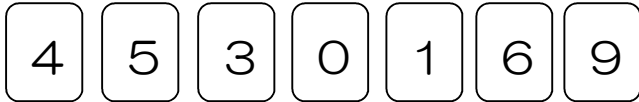


8-① 偶数と奇数

学 年		組		氏 名	
--------	--	---	--	--------	--

1 下の7まいのカードを使って、4けたの数をつくります。



(1) 4けたの偶数でいちばん小さい数はいくつですか。

偶数になるには一の位が0か4か6になります。一の位が0の時にいちばん小さい数は1340で、4の時にいちばん小さい数は1034で、6の時にいちばん小さい数は1036です。だから、いちばん小さい偶数は1034です。

1 0 3 4
9 6 5 4

(2) 4けたの偶数でいちばん大きい数はいくつですか。

偶数になるには一の位が0か4か6になります。一の位が0の時にいちばん大きい数は9650で、4の時にいちばん大きい数は9654で、6の時にいちばん大きい数は9546です。だから、いちばん大きい偶数は9654です。

2 17段の階段を右足から順に1段ずつのぼりはじめました。階段の15段目は、左右のどちらの足を出していますか。考えたことも書きましょう。

考えたこと

1段目は右足、2段目は左足・・・とのぼる。奇数段は、右足、偶数段は左足となる。15段目は奇数段なので、右足になる。

答え

右足

3 偶数と奇数をたすとその和は偶数、奇数のどちらになりますか。具体的な例を3つ書いて考えましょう。

偶数+奇数の例

$$2 + 1 = 3, \quad 6 + 9 = 15, \quad 18 + 13 = 31$$

答え

奇数

4 ちかこさんの学校の花だんには、黄色とピンクのチューリップがたくさん咲いています。黄色のチューリップはピンクのチューリップより23本多いそうです。ちかこさんの学校の花だんのチューリップの本数は偶数ですか、奇数ですか。もとめ方も書きましょう。

もとめ方

ピンクのチューリップが偶数の場合
黄色のチューリップの数は「ピンクのチューリップの数+23」なので「偶数+23」=奇数となる。
ピンクと黄色を合わせると全体は、偶数+奇数=奇数となる。
ピンクのチューリップが奇数の場合
黄色のチューリップの数は「ピンクのチューリップの数+23」なので「奇数+23」=偶数となる。
ピンクと黄色を合わせると全体は、奇数+偶数=奇数となる。
だからピンクのチューリップが偶数でも奇数でも全体の数は奇数になる。

答え

奇数